

岸本英夫 きしんぶ 宗教學者、文學博士。明治二十八年六月、二十七日兵庫縣明石生れ、昭和二十九年一月二十五日歿（二九〇三一六）。父は同學岸本能武夫。第七八高等學校を経て、大正十五年東京帝國大學文學部宗學科卒業。大學院に進んで副手を務め、妙崎衝風の長女と結婚。昭和五年アメリカ留學。歸國後東京帝大講師、助教を経て二十一年教授。この間古領初期の二十年十月聯合軍民間情報教育司宗教課顧問として宗教に關する古領政策の助言、神社神道の保全に盡力した。日本宗教學會會長。『岸本英夫集』全六卷（昭和五十年―五十二年刊）がある。

著書 『社會調査の理論と實際』（合著・民族文化調査會編、昭和二十二年七月五日青山書院）、『ユーイ研究―アメリカ的考え方の批判』（合著・鶴見和子編、昭和二十七年七月五日春秋社）、『人文科學の名著』（合著・淡野安太郎編、昭和二十二年二月二十五日毎日新聞社）、『毎日ライブラリー』等。

